

山形駅西口拠点施設「施設の概要(案)」についての意見募集結果

	ご意見の概要	ご意見等の詳細	ご意見への県の考え方
<b>1 県民会館の課題について</b>			
1	椅子が狭い、エントランスが無い、ロビーに冷暖房が無い等、不都合が多い	客席椅子のサイズが現在の人の体格に適していない上に、前後左右の間隔がほとんどない。エントランスホールが無いために、厳寒の冬季は、開場までの時間は屋外で待たなければならない非常に辛い。ロビーには冷暖房設備が無い。客席については各階で温度差があるなどいろいろ不都合な点がある。	いただいたご意見も踏まえながら、「施設の概要」をまとめさせていただきました。
2	舞台の袖の広さ、動線の悪さ等非常に使いづらいのが現状	舞台の袖の広さ、荷捌き室が無いこと、楽屋から舞台への動線の悪さなど非常に使いづらい施設であり、本県に相応しい会館の改築が早急に必要。	
3	設備が古い、荷物の搬送や駐車が非常に不便な立地等、問題が多い	現在のホールは耐震性や設備がすでにあまりにも古くなっていること、立地条件が市街地に建て込んで荷物の搬送や出入り、駐車などが非常に不便であること、客席数が少ないなど多くの問題を抱えている。	
4	現県民会館は全国的にも貧弱なホールであり、概要案の実現を期待	合唱コンクールの東北大会等で他県に行った時に、現県民会館の古さ、音響の貧弱さ、客席の狭さ、楽屋やリハーサル室等の不備など、東北の他県と比べると大変見劣りがして、肩身の狭い思いをしている。音楽にあまり関係の無い方々からは、無駄なお金を使ってといった声もあるように聞いているが、今時、現県民会館のようなホールは日本中探しても滅多に無い貧弱なホールであり、是非この案が現実のものとなることを願っている。	
5	観劇や音楽鑑賞の華やぎとは縁遠く、市内文化施設も使いづらい	演劇活動に関わってきた者として、現県民会館については、観劇や音楽鑑賞の華やぎとは縁遠く、山形市内の文化施設も、他市町の者には使いづらかった。	
<b>2 施設の概要について</b>			
6	提案のとおり事業を推進してほしい	是非この案で事業を推進していただきたい。	文化機能の中核となる大ホールは、合唱・吹奏楽等の全国大会あるいは東北大会の開催、全国を巡回する商業公演、さらには大規模なコンベンション等に対応するために2000席規模で、様々な利用が可能となる多目的ホールとし、舞台空間や舞台設備は、利用頻度や維持費を吟味しつつ、他の都道府県のホールに遜色のないものとしています。さらに、障がい者を有する方や乳幼児連れの方等が、安心して公演を楽しめる「親子鑑賞室」を設ける等、ノーマライゼーションに意を用いた、人に優しい施設とします。詳細は「施設の概要」をご覧ください。
7	建設が決定したことは大変ありがたい	建築が決定された件自体は大変ありがたい。	
8	合唱等の全国大会等が行われれば県民の文化向上に大きく寄与することから新文化施設に期待	全国規模の大会が本県で開催することが難しい現状を打開する意味で、新文化施設に期待する。合唱や吹奏楽などの全国大会が開催され、オペラ、大編成のオーケストラ、歌舞伎等が県都で度々見ることが出来れば、県民の文化の向上に大きく寄与することと思う。文化的催しによる集客は県都のみならず山形県の経済や教育に多大の効果をもたらすことを期待する。	
9	芸術文化振興上全国的な事業の開催のため、早期完成を望む	新県民文化会館の建設は県民にとっても喫緊の課題であり、大切な芸術文化振興上全国的な事業が開催できるよう、早期完成を望む。	
10	大きなイベントができない現状を踏まえ新設賛成。経済効果も大きい	現県民会館が老朽化して修理代も嵩み、大きなイベントも出来ない現状からして新設は大賛成である。他県に県民が流れているコンサートや演劇が行われ、逆に他県から人を呼べる。その結果宿泊なども増え、経済効果は大である。	
11	大きな催しが仙台にとられている現状から新施設の早期建設を希望	山形駅西口拠点施設としての新県民会館の早期建設を強く要望する。県都である山形市に2,000人以上の規模のホールがないのは観光や芸術立県の姿として寂しい。その結果、大きな催しや企画、優れた芸術的な公演等は全て仙台に奪われ、県民が経費をかけて県外公演に出向かなくてはならない。	
12	駅西に現県民会館をしのぐ総合文化施設が造られることは嬉しい	山形駅西口に現県民会館をはるかにしのぐ総合文化施設が作られることは大変嬉しく、心強く思う。	
13	新ホールの建設計画が再浮上し期待している	新ホール建設計画が再浮上し期待している。他県のホールに行くたびに芸術文化に対する理解と気概をうらやましく感じていた。文化施設こそまちづくり、人づくりの象徴と考える。ホールに行くことが喜びであり、次にそこで上演されるもので心が満たされるようなものを。	
14	一つの施設に文化以外の機能も盛り込む考えは素晴らしい	文化担当課は文化施設、スポーツ担当課は体育施設といった考えのもと施設を作る傾向にある中で、一つの施設に観光や農業、飲食店といった施設を作る考えは素晴らしい。	
15	県民が自信と誇りを持っておもてなしができる場となるよう希望	施設整備により県民が希望を持ち、文化を大事にする県民性を養い、自信と誇りを持って他県の方々におもてなしができる場となるよう希望する。	
16	県民の優れた文化創造活動を支援できる拠点であってほしい	地方の文化芸術活動が県全体の共有財産になっていないことも残念に感じており、県民の優れた文化創造活動をしっかり支援できる拠点でもあってほしい。	

	ご意見の概要	ご意見等の詳細	ご意見への県の考え方
17	文化施設は有効な活用を自ら作り出す様々な活動が重要になる	これからの文化施設は、はこものを超えて、有効な活用を自ら作り出す様々な活動が重要であり、その視点を明確にした計画・立案がされることを願っている。	
18	県内各地で発表等の場が整備されている中、財政難の県がホールを整備する意義や役割を明確にすべき	県が県民会館という文化ホールを整備する意義や役割を明確にすべき。現県民会館は、建設当時は県内に1,000席以上の規模の大きい施設がなく、市町村では財政的に建設できなかった時代の建設なので、県がその場を提供する意義はあったが、現在は市町でも十分な施設が建設できるようになっているし、県内各地で発表や鑑賞の場が整備されている。こうした状況の中で、しかも県自体も財政難の中にあつて、なぜ県が建設するのか、県民が納得できる理由を示すべき。	
19	保存・伝承機能の内容が網羅されていない	「保存・伝承機能」が網羅されていないと感じる。	「施設の概要」中、「西口拠点施設の目指すもの」に組み込んでおります。

### 3 建設場所について

20	JRを利用した山形市以外からの利便性からも原案に賛成	JR山形駅を利用し新庄方面から行く場合(特に冬期間)など、山形市以外の県民の利便性からも原案に賛成する。	<p>駅西再開発事業用地は、平成4年度策定の基本構想、平成5年度策定の文化振興指針において新県民文化施設の建設用地と位置づけられ、平成13年に用地を購入しております。山形市の計画においても、霞城公園と相まった文化ゾーンとの位置付けがなされています。</p> <p>こうした経緯を踏まえ、「施設の概要」にもありますとおり、山形駅西事業用地に文化を核とする拠点施設を整備することといたします。</p>
21	立地条件の良い駅西への建設実現を期待する	全国に誇れる立地条件の良い駅西に新文化施設の建設が実現してほしい。	
22	交通の便が良く、駐車場と観客席を確保できる駅西での建設を希望	交通の便が良く、駐車施設と大きな観客席を確保できる、県都山形駅西口での建設を希望する。JRの駅に近いことはもちろん、ビジネスホテルも多く、県外からの観客を収容し宿泊するにも都合が良い。蔵王連峰も垣間見え、景観も山形県代表施設として申し分ない。	
23	県民会館は県病跡地に、駅西にスタジアムというのが一般人の声	県民会館は県立中央病院跡地に、駅西にスタジアムを作ってほしいという声もあがっているが、これが一般人の率直な声だと思う。	
24	駅西にはサッカー専用スタジアムが相応しい。ホール施設は県病跡地に	山形駅前の活性化、経済波及効果という観点、「Jのある東北の街」をもっと打ち出すという観点から、西口にはサッカー専用スタジアムが最も相応しいと思う。モンテディオ自体の強化からしても、観客動員が見込まれる山形市に1万人強規模の専用スタジアムを造った方が絶対良い。その上で、ホール施設は旧県立中央病院跡地に造るのが良いと思う。(テルサと)同じ種類の施設が並んで立つのは滑稽である。山形美術館や霞城公園との連携の方が相互的に生きる構想が描けると考える。	
25	県民会館は現地での建替え。西口にはサッカー場の整備を希望	県民会館は現地での建替えが良い。テルサ、霞城セントラルでその機能は充分果たせる。西口にはサッカー場を持ってきて、全国や県内から来るサポーターへの利便性を図るべき。経済効果もはかれる。	
26	駅西に2,000席のホールを建設するメリットが不明。サッカーも「文化」であり、県民会館ありきで議論が進んでいることに疑問がある	あの場所に2,000人収容の県民会館を建設するメリットがわからない。2,000人では若者が集まるライブは開催できず、テルサホールとの差を感じられない。人が集まり、集まった後に周辺にお金がおちる施設が箱物を建設するメリットであり、クラシックコンサートを聴きにくる人たちがコンサートを聴いた後で周辺で食事等をとることは少ないと思う。	
27	駅西に大ホールや野菜工場を建設する必要性は無い。駅西には「街中スタジアム」の整備が良いのでは	大ホールや野菜工場を山形駅西口に建設する必要性は全く見当たらない。建設する必要があるのであれば、近い将来の少子化を踏まえ、山形西高と山形北高を統合、山形西高を存続し、山形北高跡地に建設する方法や、東北芸術工科大学を山形大学地域教育文化学部へ統合し、芸工大跡地を活用する方法がある。少子化になれば、成績の良い生徒の絶対数も減少し、生徒の成績レベルをある程度保たなければ、学校全体の成績レベル・教育レベルが低下する。	
28	サッカー場と文化施設どちらが金を生むか。文化施設は至誠堂病院跡地がベスト。駅西には全国サッカーファンが羨ましがらる駅直結スタジアムを	署名運動までして希望しているのはサッカー場である。サッカー場、文化施設どちらが山形にお金を回すか、第三者に調べてもらえば良い。サッカーを見ながらお酒を飲む、コンサートではお酒を飲まない。至誠堂病院跡地がベストだと思うが、郊外に車で行けるホールでも良いのでは。	



	ご意見の概要	ご意見等の詳細	ご意見への県の考え方
29	駅西ではなく、現県民会館跡地か県病跡地への建設を提案したい	新県民会館を山形駅西口の計画地に移転・建設することに反対する。新たな立地案として、①中心市街地のにぎわいを損ねないように現在の建物の跡地に建設する、②やまがた中心市街地ルネサンス構想にある、公園通り周辺ゾーンの考え方に沿って、旧県立中央病院跡地に立地させ、文化の香り高い風格ある空間のゾーンの中心的施設とする、の2点を提案したい。将来、霞城公園からは諸施設が撤去され、整備される長期計画があり、公園内の施設(過去にあったテニスコート・体育館)の移転先として、この計画地を活用できないか。冬季のサッカーの練習場や野球の練習場などの単機能の施設や、健康に関わるセンター機能などを兼ね備えた複合機能の施設など、いろいろな発想があっても良いのでは。空き地があるからそこに移転するという発想だけではなく、県都山形市をどのような街にするのか、という観点から、生活者と県・市が一体となって考え、後世に住みたくなる街を残していただきたい。	
30	山形市の計画やコンパクトシティ化を念頭に、新県民会館の立地が駅西に相応しいのか議論が必要	都市計画の観点において、県都山形市をどのような街にするのか、この施設整備をどのように位置づけているのかに触れられていないことに違和感を覚える。大規模集客施設を建設することで守れる文化もあるが、場所や規模を間違えれば失うものも大きくあると考える。人口減が想定される中、山形県としてもコンパクトシティ化を強力に進めていく方針と思うが、山形駅西口は、中心市街地内には入るものの、山形市中心市街地活性化基本計画で定めた中心市街地活性化の対象エリアから外れており、今後の目指すべき方向性は、コンパクトシティ化を念頭に、山形市の中心都市機能を再構築し、計画し、実行していくことと考える。郊外化し分散してしまった諸機能を集中させ、いかにして行政機能を持続可能なものにするかを県と県民が一体になり真剣に考えなくてはならない局面にあり、新県民会館の立地は、山形駅西口が相応しい場所か、移転の場合はどのような跡地利用で既存の価値を失わないようにすべきか議論が必要。	
4 大ホールについて			
31	東北最大規模のホールを作ってはどうか。2,000席では勿体無い	仙台や東北の他都市に無い規模(東北最大規模)で作ってはどうか。2,000席規模では勿体無い。現在、2,000人以上の集会は既存の展示場やスポーツ施設を使わざるを得ないが、設営費や駅から離れた会場へ輸送費が高く、二次交通も充実していないことから、本県での開催を断念することが多い。仙台にも無い規模の固定席ホールが出来れば、コンベンション等で仙台ではなく本県が選ばれる可能性がある。	文化機能の中核となる大ホールは、合唱・吹奏楽等の全国大会あるいは東北大会の開催、全国を巡回する商業公演、さらには大規模なコンベンション等に対応するために2000席規模で、様々な利用が可能となる多目的ホールとし、舞台空間や舞台設備は、利用頻度や維持費を吟味しつつ、他の都道府県のホールに遜色のないものとしていきます。さらに、障がい者を有する方や乳幼児連れの方等が、安心して公演を楽しめる「親子鑑賞室」を設ける等、ノーマライゼーションに意を用いた、人に優しい施設とします。
32	会議集会等に対応できる多目的用途に適した設備をつくっては	既存の文化施設を見ても、音楽芸術等の使用で稼働が一杯になることは無いことから、一つの分野に特化せず、会議集会等に十分な対応が出来る、多目的用途に適した設備をつくってはどうか。全国大会などは県外の方が多く来県することから多くの経済効果も見込まれる。	
33	発表会等での利用を考慮し、不要な上層階を仕切れる工夫が必要	客席が2,000席あれば全国大会規模に対応は可能と思われるが、発表会・コンサート等で使用する時のことも考慮して、不要な上層階を仕切れる(隠せる)といった工夫が必要。	
34	2,000席では使い切れない。演劇ホールを作れば如何様にも対応可能	2,000席は大きすぎ。馬蹄形のオペラハウス仕様は反対。建物はシンプルが一番であり、大は小を兼ねない。2,000席では使い切れない。最近の芸術家には小さいところでコンサート・パフォーマンスをしたいという思想が生まれている。また、オペラ、バレエなど県民が一生に一回見るか見ないかのジャンルではなく、リーズナブルに見られる「演劇」に基本を置いた、残響音が限りなくゼロに近い「演劇ホール」を作れば如何様にも対応できる。歌舞伎は「伝国の杜」、音楽ホールは「テルサ」など文化の分担が無いと多目的過ぎてホールが無目的化する。	
35	客の心理として2,000席のホールでは大きすぎて見る気になれない	客の心理として2,000人も入る大きなホールでは何も見たくない。1,200席の山形市民会館でも会場が大きすぎて、芝居を見る気分になれない。ましてや2,000席では舞台上の役者の顔も見えない。1,000人のホールなら2回公演すればいいだけである(潤沢な事業資金は必要)。	
36	音の良さ、見やすさを追求してほしい。スクリーン設置も検討してほしい。	ホールについては、観客が最適な環境で鑑賞できるよう、音の良さ、見やすさを追求していただきたい(デザイン重視はやめてほしい)。また、客席2,000席とあるが、スクリーンは設置するのか。	
37	2,000人規模の半端なキャパシティでは採算が取れず、仙台への人の流れは止まらない	文化施設を造るにしてもテルサを中ホールにして、大・小ホールはいらない。大ホール2,000人規模では交響楽団しか必要としない。若い人たちは有名アーティストのコンサートを希望している。半端なキャパシティではコンサートの採算がとれず、若い人たちが仙台に行く流れが止まらない。	
38	音楽ホールにとって音響の良さは欠かせない	音楽ホールにとって音響の良さは欠かせない。演奏者も観客も良い音を求めている。良いホールで聴いた良い音は人の心に長く残る。	
39	人口減少を踏まえ、適正規模の再検討が必要	山形県の県都山形市においても、進みゆく人口減少の中で、どのような規模の施設が適正規模なのか、再検討が必要だと思う。	

	ご意見の概要	ご意見等の詳細	ご意見への県の考え方
40	全国大会レベルのコンクールには、大ホール3,000席、小ホール1,500席が理想	一つの県の中で全国大会レベルの音楽コンクールを開催するためには、3,000席の大ホール、1,500席の小ホールが理想。	
<b>5 小ホールについて</b>			
41	大規模集会の分科会等に対応できる中小ホール、展示用ホールが必要	隣接する山形テルサ等に中小ホール機能は任せるという意見もあるようだが、高齢化社会を踏まえ、会場間の移動は少しでも少ないほうが良い。近年の大規模集会は分科会があり、分かれて集まれる中小ホールが必要。テルサホールのほかにも、500名規模、100～300名規模の会場や、展示が併設されるコンベンション開催に備えた多目的ホール等が必要。	小ホールについては、寄せられたご意見等を踏まえ、隣接する山形テルサの小ホール(アプローズ:400席)や、市民会館、山形市中央公民館、文翔館議場ホール、遊学館ホールなど、県内の同規模のホール等の活用で対応するものとし、「施設の概要」には盛り込まないことといたしました。
42	客席等は可動で。リハーサル対応の為平土間を大ホール舞台と同じ広さに	舞台・客席を可動式にすることにより、そこでの使用範囲が広がるのではないかと。欲を言えば平土間が大ホールの舞台と同じ広さがあれば、大ホールで公演に向けてのリハーサルなども行えるのではないかと。	
43	客席は500席程度で可動式にし、多目的な利用を可能に	小ホールの客席は可動式にして500名程度にしていきたい。舞台を使わない時はフロアを他の目的に使えるようにしていきたい。	
44	小ホールや会議施設を包含した多目的な施設づくりを期待	500人規模の小ホールや300人程度の会議施設を同時に包含するなど、食事も含む多目的な施設づくりを期待する。	
45	テルサと重複する小ホールは不要。通路で繋ぎ有機的な活用を	隣接する山形テルサに1,000人弱のホールと400人収容の小ホールがあるのに、新文化施設に小ホール建設は絶対に必要ない。山形テルサと地下通路で繋ぐなどして有機的に活用する方法を工夫すべき。	
46	大ホール以外をもっと縮小して整備したほうが良い	大ホール以外をもっと縮小し整備したほうが良い。そもそも大ホールも含めて利活用の回数等はどの程度か。	
47	300人規模のホールを作るのであればアイマックスシアターとして整備してほしい	山形市には市民会館があり、新築して複合的な施設として生まれ変わらせるという新たな構想も出始めている。また、音楽関係には最適な「テルサホール」、県の遊学館ホール、アズ七日町の中央公民館ホールと、200名～500名収容の小ホールがあり、存分にその機能・特徴を生かした運営をしていると感じており、新たな文化ホールに、同じような300人規模の小ホールを併設する必要があるのか考えていただきたい。  300人規模のホールを作るのであれば、アイマックスシアターとして整備していただきたい。商業施設として採算ベースに乗せる。	
<b>6 舞台機構等について</b>			
48	吊物機構は置賜文化ホールの水準を上回ることを	大ホールの吊物機構(バトンの数、電動化など)は置賜文化ホールの水準を上回るものとしてほしい。ただし、緞帳にお金はかけなくてよい。	ホール水準としましては、他都道府県の会館に遜色のないものとするを想定しております。具体的には設計作業の中でご意見を尊重してまいります。
49	楽屋数の十分な確保と舞台袖へのスムーズな動線の確保を	楽屋の十分な確保と舞台袖へのスムーズな動線の確保をお願いしたい。	
<b>7 練習室について</b>			
50	創造・育成部門が贅沢。県の施設であり日常活動の稽古対応は不要	「創造・育成部門」がぜいたくすぎる。現在の新国立劇場とオペラ劇場の二つが持つような稽古場機能は必要ない。ここをカットすれば建設費用が削減できる。県の施設であり、日常の文化活動の稽古対応は必要が無いと思う。文化活動や練習は市の施設を使うという「使用ライン」が必要と考える。	練習室構成は、他都道府県の会館に遜色のない水準と考えます。動線等については、設計過程においてご意見を参考にさせていただきます。
51	ホールとは別に、もっと気楽に発表会等が行える空間がほしい	大小のホールとは別に、もっと気楽に発表会等が行える空間がほしい。これは練習室とは別のもの。ただし、練習室ももっとあって良い。常にこの施設で何かしら文化的な催しが行われていれば、人も常時集う。	
52	練習室のみの使用を想定した動線と区画を設計してほしい	県民が日常活動で「練習室のみ使用」することを想定して、当該部分の外部からの動線と区画を設計してほしい。	
<b>8 映像機能、上映機能等について</b>			
53	映像・映画の上映機能を付加することで年間を通じた集客を	年間を通じて集客するためには映画等の上映が安価で効果的であることから、映像・映画の上映機能を付加してほしい。映画館とは競合しない作品を上映することで役割分担が可能。	ロビーあるいは(仮称)Yamagata Agriculture Show-windowに、映像により山形の伝統芸能や農業技術の粋など、山形を発信する仕組み、設備を整えたいと考えます。



	ご意見の概要	ご意見等の詳細	ご意見への県の考え方
54	県内の伝統行事や文化団体活動がビデオ鑑賞できるスペースを作っては	県内の伝統行事や文化団体の活動がビデオで鑑賞できるスペースを作ってはどうか。川西町フレンドリープラザには、井上ひさし氏縁の遅筆堂文庫が併設されており、ホールで催事が無い時でも常に町内外から人が集っている。	
55	各地域の文化、歴史、言葉の違いを紹介する施設も良い	山形の文化圏の違い、置賜・村山・最上・庄内の文化の違い、歴史の違い、言葉の違いなどを紹介する施設等も良いのでは。	
<b>9 展示室(ギャラリー)について</b>			
56	簡単な美術展が開催できるギャラリーも良い	簡単な美術展が開催できるギャラリーも良い。ここが文化的で洒落たサロンとして、人々に愛されることが必要。	ロビーや通路等にレール、フック等を設置することにより、有効に活用できるようにしてまいりたいと考えます。
57	アマチュアの芸術家が作品や芸を発表できる場所を設けてほしい	芸術家の卵とアマチュアの芸術家が自由に作品や芸を発表できる場所を、西口拠点施設内に設けていただきたい。	
58	美術展ができる展示会場を施設の中に造ってほしい	県立美術館の無いところは無く、大きな良い展示会場はできないのが現状であり、何とか美術展などが出来る展示会場を県民会館の中に作っていただきたい。他の美術館などの作品を借りて展示をしたり、他の団体の移動展などができれば幅広く活用できると思う。	
59	テルサと重複する部分は無くし、建築自体が魅力を持ち、山形の芸術を発信する総合アート施設の建設を	山形に足りないのは、建築としても人を集めるだけの魅力を持ち、展示内容等の発信で他県から多くの客を呼べる美術館である。隣にテルサという施設もあり、県民会館として公演等を主体とする施設だけでは新鮮さがなく、斬新な空間が必要。東北芸工大という素晴らしい芸術拠点を持つ山形として、小ホールなどテルサと重複する部分は無くして、建築それ自体が魅力を持ち、過去～現在の山形の芸術を発信する、総合アート施設を作ることを提案する。	
<b>10 野菜工場等について</b>			
60	県産品ショップや野菜工場の詳細を教えてください	賑わい創出部門、特に県産品ショップや野菜工場の詳しい内容を教えてください。	野菜工場については、「見て、触れて、味わって、購入する」ストーリーの起点であり、また、山形の農業の先端性をPRする施設として、例えば、県の先端技術である有機ELの農業への活用等も念頭に、概要(案)に盛り込んだものでしたが、様々なご意見を踏まえ、本来目指している「先端性」「ストーリー性」を食の面から「心豊かで 幸せな山形生活」として発信する、山形県のショールーム機能、仮称「Yamagata Agriculture Show window」として整備し、同時に県産日本酒、ワイン、伝統的工芸品等の展示も行いたいと考えます。
61	利活用の機会が少ないことから削除又は別施設として整備すべき	賑わい創出部門は利活用の機会が少ないと考えられることから削除又は別施設として整備すべき。駅に隣接した県の紹介案内が必要であれば、「(仮称)山形県インフォメーション」等として特化した機能を持たせたほうが適切。	
62	野菜工場は疑問。匂いを狙うのであれば露地物で充分である	野菜工場には疑問がある。県は野菜工場を積極的に支援しているわけでもなく、あくまでも農業を支援している姿勢が強い。野菜工場は見せるものにはなりえず、有機ELを使った野菜工場であれば意味はあるが、有機ELはまだその域に達していない。匂いに関係なく通年収穫できるのが野菜工場であり、匂いを狙うのであれば露地物で充分である。	
63	野菜工場は場違い	野菜工場については場違いのような気がする。	
64	野菜工場の発想は疑問。人工的空間で栽培しても宣伝効果は無い	野菜工場の発想は理解に苦しむ。県産野菜は山形の畑で採れたから意味があるのであり、駅前の人工的空間で栽培しても宣伝効果は無い。	
65	野菜工場は設置しないでほしい	野菜工場は設置しないでほしい。中途半端なものをつくっても機器の展示にしかならず、すぐに飽きられる。実用的な規模のものをつくると、建築面積を喰い整備費を増大させてしまう。	
66	野菜工場など、計画自体に疑問	野菜工場など、計画自体に疑問がある。	
67	中途半端な野菜工場は不要。一等地の文化施設に置く必要は無い	文化施設中心が妥当。中途半端な野菜工場は不要ではないか。山形は自然の中での農業のイメージなのにわざわざ工場を表に出す必要があるのか。野菜工場自体は悪くないが、わざわざ一等地の文化施設に置く必要はないと思う。	
68	水耕栽培の野菜コーナーは山形県の農業のイメージに反する	県内農産物の紹介コーナーには賛成だが、その売りが水耕栽培の野菜というのは疑問。山形県の豊かな自然を生かした農業のイメージに反すると思う。	

		ご意見の概要	ご意見等の詳細	ご意見への県の考え方
	69	余計な施設が多い。特に野菜工場は多額の経費がかかるのでは	概要案を見る限り無駄な施設としか思えない。余計な施設が多く、特に野菜工場については、管理運用の人員費や光熱費などを含めると年間三千万円程度の経費が掛かるのではないかと懸念する。そのようなところで作った高価な野菜をバイキングで出すといった施設に税金を使わないでほしい。	
	70	多機能施設ではなく「ホール」に限定した方が役割が果たせるのでは	多機能施設にするよりも「ホール」に限定したほうがホールとしての役割が果たせると思う。県産品ショップや野菜工場はここである必要があるのか。観光と文化を住み分けても良いのでは。	
<b>11 産直レストラン等賑わい創出機能について</b>				
	71	レストランや店舗のデザインはトータル的にコンセプトを持って行うこと	レストランや店舗の店内デザインについては、センスの良いデザイナーを確保のうえ、全体をトータルに、コンセプトを持ってデザインしてほしい。また、これと逆の発想として、区画を定めて小さな屋台が雑然と並ぶマーケット風の演出をすることも考えられる。	霞城セントラルとの役割分担につきましては、賑わい創出の面及びエネルギー供給の面で連携を図ってまいります。拠点施設内に整備を想定している産直レストラン等は、このような施設では、来場者へのサービス提供の面から必要不可欠なものではありますが、その内容としては、山形を発信する視点から、山形らしさにこだわったものとし、近隣と競合するような内容とはしない考えです。
	72	レストランは安価で気軽に利用できるものを。営業時間の配慮や、レンタルショップもあればより賑わうのでは	レストラン・カフェは、安価で誰もが待ち合わせ・休息などで気軽に利用できるようなものを。また、常に夕方(18時頃)閉店とならないような営業時間の考慮も必要。施設内にDVD・CDなどのレンタルショップのようなものがあればより賑わうのでは。	
	73	短時間で食事をしたい方向けの店舗もあれば良い	飲食ブースについては、短時間で食事をしたい方向けの、(立ち食いそばなど)素早く提供できる店舗もあれば良い。(若者向けのファーストフードなども。ただし、チェーン店のハンバーガーなどではなく、山形県の農畜産物にこだわってほしい。)	
	74	若者に名の通っているスターバックスを誘致してほしい	若者などに名前の通っているスターバックスを誘致してほしい。イベントが無い日でもスターバックスには人が来るはず。テルサのカフェとの差別化も図れる。若者は名前の通っているテナントに弱い。	
	75	賑わい創出の内容がありきたり。近隣店舗と競合する恐れがある	賑わい創出機能の内容はありきたりであり、隣接する霞城セントラルや山形駅構内の各店舗と競合してしまい、賑わいが分散化するリスクがある。	
	76	隣接する霞城セントラルとの機能分担をどう考えているか。この施設が駅周辺の賑わいのため担う役割について市と協議し提示してほしい	レストランカフェ、県産品ショップ、野菜工場の整備計画がなされているが、隣接する霞城セントラルとの機能分担をどのように考えているのか。駅前には各地から利便性を求められるビジネスゾーンとしての機能こそ求めたい。また、駅西だけでなく、駅東も含めた山形駅周辺の賑わいをどのように創出していかを考えるべきで、その役割は山形市が中心となるべきものであり、この施設が賑わいにどのような役割を担うのか、県と山形市との間で協議し、その協議結果を示していただきたい。	
	77	観光物産施設は駅西ではなく、県病跡地と山形空港東側に必要	観光物産会館的な施設は駅西ではなく、県立中央病院跡地と山形空港の東側に必要と思う。観光バスが来るのは駅西ではなく、東大手門の方。文翔館も有料でも良い位の立派な施設なのに、そこでは食事どころかお土産も買えない。山形空港もそうであり、それでは賑わいは生まれない。それぞれに合った施設、適材適所で真剣に考えてほしい。	山形駅西口拠点施設においても、発信機能を充実させることは重要と考えます。
<b>12 ノーマライゼーションへの対応について</b>				
	78	車椅子観覧スペース、車椅子で利用可能なトイレの併設を	身体障害者の立場から、車椅子で観覧できるスペースを二階両翼に各50席位整備してほしい。あわせて、車椅子が利用可能なトイレを併設してほしい。障害者に優しい山形県民の良識の感じられる他県に誇れる施設整備を切望します。	車椅子席、多機能トイレ等について、ご意見を踏まえ、「施設の概要」に折り込んでおります。
	79	車椅子用席やエレベーター設置など、高齢者や障がい者に優しい施設に	現県民会館の客席や内容との違いはどうなるのか。障がい者の利用を踏まえ、車椅子用席は何席、また、駐車場は何台置けるのか。入口の近くへの整備や、エレベーター、エスカレーターを設置など、高齢者や障がい者に優しい施設を整備願いたい。	
<b>13 外観等について</b>				
	80	搬入ヤードは11トン車を横付け、舞台袖に搬入できるように	搬入ヤードは11トン車を横づけ、舞台袖に搬入できるのが最適な搬入施設と言える。ブロックプランのABC案いずれも搬入口が想定されていないように見受けられる。	11tトラック2台以上が屋内で作業できる搬入口を整備する計画としています。
	81	駅西地区にバスターミナルと飲食店街の複合的待合所を整備しては	山形に土地勘の無い観光やビジネス客は公共交通機関が頼りだが、その県都駅前にバス発着基点が無く、観光客誘致以前の問題。小ホール機能はテルサに任せて、その場所にバスターミナル及び飲食店街などの複合的待合所を整備すれば、相当の賑わいと商業施設等の集積が期待できる。	既存の機能を十分に活かしていく計画としています。



	ご意見の概要	ご意見等の詳細	ご意見への県の考え方
	82 新幹線車窓からレストラン・店舗などの賑わいが見えるよう配慮を	施設配置はA案を基本とし、新幹線車窓からホワイエやレストラン・店舗などの賑わいが見えるように配慮してほしい。	設計過程において検討してまいります。
	83 ブロックプランはA案を元に検討してほしい	ブロックプランはA案を元に検討してほしい。観客の動線や舞台搬入口の確保等からすると、3例の中ではA案しか考えられないのではないかと。	
	84 黙っていても家族連れが集まるような仕組みがほしい	東根市の「タントクルセンター」のように黙っていても家族連れが集まるような仕組みがほしい。例えば建物全体が山のようになっていて、壁から屋上が緑化され、ツリーハウスのような場所もある。建物全体を使って子供たちが遊べる仕掛け。あるいは冬は外壁の斜面スロープでスキー体験も出来るなど。	
	85 施設の外観ができるだけ周囲と調和するよう配慮を	高いフライタワーを持つ大ホールの圧迫感を和らげる設計上の工夫など、施設の外観ができるだけ周囲と調和するように配慮してほしい。	
<b>14 賑わい広場・防災広場について</b>			
	86 駅西には博物館と山形の物産市を行うスペースを設置してはどうか	駅西には、博物館及び山形の物産市を常に行うスペースを置き、必要であれば県民会館の機能を盛り込むのが良いと思う。博物館は、国宝があり、魅力のある展示があれば、多くの観光客を呼べる。物産市とのコラボもできる。「駅前博物館」は全国的にあまり無く、注目を浴びると思う。県立博物館は築40数年経っており改築が必要、また、山形市の土地に建てており、どちらにせよ移転が必要。	イベント等の実施スペースについては、イベント広場(防災広場)等を活用してまいります。
	87 買い物、食事、大道芸等の見せ物も楽しめる空間を希望	ヨーロッパの街の広場のように、買い物も食事も、さらに大道芸などの見せ物も楽しめるような空間にされることを希望する。	設計過程において検討してまいります。
	88 防災広場の規模を拡大、再生可能エネルギーも積極的に活用してほしい	防災広場の趣旨はわかるが内容が薄い。規模を拡大し、再生可能エネルギーを十分かつ積極的に利用できるような観点で再考すべき。	
	89 防災広場の必要性和朝市等日常的利用の簡便性の両立を図ること	駅西広場等を利用した朝市等の開催を制限することによる民間活力の消極化は避けるべきであり、逆に積極的に支援すべき。防災広場の必要性和日常的利用の簡便性を両立できるよう再考されたい。	
<b>15 再生可能エネルギーの活用について</b>			
	90 太陽光発電以外にも、風力発電や雪室の設置を検討してほしい	今更太陽光発電を設置するのであれば、せめて風力発電や雪室の設置も併せ再考すべき。	建物壁面や屋上等を有効活用した太陽光発電や蓄電設備等の設置を検討してまいります。
	91 再生可能エネルギーの活用はできないのか	再生可能エネルギーの活用は出来ないのか。	
<b>16 駐車場について</b>			
	92 可能な限り多くの台数が駐車できるように整備してほしい	JR等公共交通機関の利便性が低く、活用も難しい地域が多い本県であるため、可能な限り多くの台数が駐車できるようにしてほしい。	山形駅に隣接した場所であり、公共交通機関利用者も一定程度想定されますとともに、近隣の民間駐車場との連携や活用も念頭に、施設自体の駐車場は現状程度と考えます。
	93 駐車場の一部立体化、地下駐車場としての整備も検討しては	パブリックコメントの内容の反映次第では、駐車スペースが削られることも考えられるが、駐車場を一部立体駐車場にする、あるいは地下にも駐車場を作る事を検討しても良いのではないかと。施設の建屋が大規模になっても多くの来客に対応できるし、かなりの集客のあるイベントの場合でも、周辺駐車場まで満車になる場合も減ると思います。	
	94 周囲に民間駐車場が沢山あるのに最大限確保という方針はおかしい	駐車場も最大限確保することのことが、周囲にも民間駐車場がたくさんあるのに、税金を投入してわざわざ民間のシェアを喰うものを行政がつくるなど意味不明である。	
<b>17 事業費・事業構想・事業手法等について</b>			
	95 他県に比べると少ないがこの内容で我慢するしかない	200億円から40億円の減額には驚いたが、この内容で我慢するしかないと考える(他県の2,000席規模のホールは200億円以上の事業費)。	ご意見等を踏まえ、「施設の概要」中、事業費の項にお示ししたとおりです。
	96 100年持つ会館を建て、後世の県民に役立ててほしい	お金がかかると言っているが、100年はもつ会館を建てていただき、後世の県民に役立ててほしい。現在の県民会館の防災上からも当然建替えるべき。	

	ご意見の概要	ご意見等の詳細	ご意見への県の考え方
97	費用がかかり過ぎ。一部を基金として将来の事業費に回しては	約160億円との計画について、お金がかかり過ぎるというのが第一印象。建設後は事業費や維持費がかかり、事業には潤沢な資金が必要であり、建物よりソフトにお金をかけたい。例えば160億円のうち60億を事業費の基金としてはどうか。	
98	予算が厳しいなら、建設債を設ければ沢山集まるはず	山形市は共同事業化に応じず、サッカー場誘致の方向と報道されたが、これはとても受け入れられない。予算面で無理なら、加茂水族館のように建設債を設ければたくさん集まるのは間違いないと思う。	
99	160億円は高くないか。価格高騰の対策はあるのか。市と協力するなど県民の負担軽減を図ること	総事業費160億円は高くないのか。また値上げになるのではないのか。各県、市町村で入札不調になっているが対策は考えているのか。山形市と協力しての整備を再協議して、県民の負担を少なくして、無駄のない施設を整備してほしい。	
100	あれもこれもという箱を作って採算が取れるのか。採算を考慮していない足し算箱にしか見えない	まとめられた案は素晴らしいものだが、あれもこれも欲しい、他の自治体はこうだからうちも、みたいな総合箱を作って採算が取れるのか。県にお金があり余っているのであれば何でも作ればいいが、県がもっと真剣に考えれば今までになかったような発想があつて良いと思う。この案は採算等を一切考慮していないただの足し算箱にしか見えない。	
101	どの分野の文化芸術の発表や鑑賞機会が失われているのか、具体的な明示がなければ建設理由が立たない	県民会館が老朽化・陳腐化していることで「県民の文化芸術の発表や鑑賞の機会が失われつつある」とのことだが、県内の現状で不十分というのであれば、どのような分野の文化芸術の発表や鑑賞機会のために巨額の費用を費やそうというのか、具体的な内容を明確にしないと、施設建設の理由が立たない。人気アーティストのコンサートが県内ではできないというのであれば、どんな地域でも10,000人以上の集客力のあるジャニーズやAKBなどは2,000席程度のホールでは、儲けが少なく、自主興行は行わない。また、質の高いクラシック等のコンサートというのであれば2,000席は大きすぎますし、テルサや伝国の杜等の施設で満足できる公演がされている。伝統芸能等であれば小ホールで充分で、市町村にその機能は十分に整備されている。	
102	コンベンションの誘致について費用対効果を明確にして県民に提示すべき	この施設を整備することでどの程度のコンベンションが誘致できるのか。コンベンションには大きな経済波及効果があるので、年間の誘致コンベンション数を提示した上で、費用対効果を明確にして、県民への判断材料を提供すべき。	ご意見として承ります。
103	造る前に文化体育施設の全体構想を作り、長期計画で造ってほしい	ホール施設だけでなく、美術館やスタジアム等の文化体育施設全体のグランドデザインの中で構想しなければならないと思う。造る前に全体構想を作り、5年から10年、あるいは15年の長期計画で順次造ってほしい。	
104	設計者選定はコンペではなくプロポーザルで行ってほしい	設計者選定はコンペではなく、プロポーザルで行ってほしい。基本設計にあたり、実際に施設を利用する方、特に舞台技術スタッフの意向を反映させることが、長く使用できる便利な施設を作るための必須条件である。	平成10年に実施したプロポーザル方式の設計者選定において選定された者に設計を委託することとなります。
105	県産材を使用した「日本(世界)初の木造2時間耐火」施設の建築を	県産材を使用し、山形県の企業がオープン化している構築・耐火技術による「日本(世界)初の木造2時間耐火の西口拠点施設」自体が、山形を発信するものとなる。構造も含み木造とすることで、県外からも建物自体を見学しに来県する等、交流人口の大幅な増大が見込めるとともに、県内の林業をはじめとして木材関連産業・林業6次産業化の振興・促進が図られ、山村維持、雇用増大、地域社会の活性化等に結びつき、「元気な山形づくり」のシンボルとなる。鉄筋コンクリート造りでは、霞城公園との調和もなくなり、コンクリートビルが林立するだけで全く魅力のないものとなりかねない。	県における基本方針として「やまがたの公共建築物等における木材の利用促進に関する基本方針」を定めておりますので、的確に対応してまいります。
<b>18 施設の連携等について</b>			
106	20年前の話を踏まえ文化施設ありきという進め方はいかがなものか	現県民会館の老朽化は理解できるが、20年も前の話に乗っかって文化施設ありきというのは如何なものか。今、何が本当に必要なものか、から始めるべきではないか。	今回、今日的課題等も踏まえて検討を行った結果、文化を核とした拠点施設を整備することとして、「施設の概要」をとりまとめたものです。
107	文化はシーズンオフが無い。テルサや映画館と融合を図れば意義も高まる	文化はスポーツと違ってシーズンオフは無い。年間を通して利用できるのだからその価値は大きい。駅西のテルサ・映画館などの文化施設との融合を図れば、その意義はより高まると思う。国際ドキュメンタリー映画祭にもうってつけである。	
108	人口減少等を踏まえ、県と市の協力や、必要最小限の整備を希望	人口減少や高齢化の進行の中で箱物整備をすることは、慎重の上にも慎重を期すべきものと考え。市民会館を持つ山形市にも働きかけをして、県と市が協力して将来に備えるべき。隣の宮城県をうまく利用することも考えられる。整備を進めるとしても、必要最小限の施設整備してほしい。県・市・民間で整備した霞城セントラルも空室が目立っており、県民の負担になっているのではと心配している。	山形テルサや霞城セントラルなど、周辺施設と連携を取っていくものであり、また、整備事業を進めるにあたって、市と十分に連携をとっていくものであります。



	ご意見の概要	ご意見等の詳細	ご意見への県の考え方
109	近くに市民会館と県民会館がある必要性に疑問。一緒に駄目なのか	近くに市民会館と県民会館がある必要性が分からない。市民会館も古くなってきており、一緒に駄目なのか。	
110	重複を踏まえれば本当に必要なのは2,000席の大ホールだけであり、その場合は市と共同で県民会館併設の複合スタジアムを造ったほうが良い	他施設と連携と言いつつ、なぜ重複した施設を造るのか理解できない。小ホールは山形テルサ、特産品展示場は霞城セントラル、飲食店はテルサ、セントラルの双方にあり、本当に必要な施設は2,000人収容の大ホールだけと考える。 その場合、山形市と共同で県民会館併設の複合スタジアムを造った方が良い。サッカー以外にも冬季はスノーボードの会場や蔵王で行われる大会のメイン会場などアイデア次第で多数の観光客が見込めると思う。	
111	秋田県が検討している新しい文化施設のようなものを検討しては	秋田県の新しい文化施設は、2,000人規模の高機能ホールと1,200人規模の舞台芸術型ホールの2種類のホールを設け、3,000人規模のコンベンションなどのイベントに双方のホールが使用できるように計画されているが、西口拠点施設にもそうしたものを検討しても良いのではないかと。	
112	シベールアリーナと連携した運営体制を検討してはどうか	県民の幅広いニーズに応えるため、運営を「公益財団法人弦地域文化支援財団」に委ね、新施設と財団がもつ500席のホール(シベールアリーナ)が連携できる体制は考えられないか。財団が1,000席、500席、300席という3つの施設を運営する代わりに、「シベールアリーナ」という名称ではなく、「山形県県民会館中ホール」という名称にする。	運営主体等については、今後検討してまいります。
113	情報発信拠点として放送局機能を併設し、県内放送局を誘致しては	文化施設で行われるイベントの他、県の魅力・話題、災害時の各種情報等を県内や全国に発信する「情報発信拠点」として、新県民文化施設に「放送局機能」を内包する、または「放送局棟」として文化施設に併設させ、県内の放送局を誘致してほしい。施設に内包する形で検討する場合は、ラジオとテレビのサテライトスタジオでも構わない。また、県内の放送局を誘致する場合、1968年の竣工以来使用され続け、現在の局舎の老朽・狭隘化が進んでいるNHK山形放送局を重点的に誘致してほしい。なお、施設に放送局機能を設ける場合、霞城セントラルにラジオとテレビの送信用アンテナを設けることを検討するのも良いと思う。	現時点では計画しておりません。

## 19 意見聞き取りについて

114	検討委員が県民会館推進派ばかりではないか。若者を入れないのか	検討委員のメンバーが県民会館推進派ばかりと感じる。有識者とはどのような有識者なのか。なぜ若者を検討委員に入れなかったのか。検討委員の中で、他県のJリーグスタジアムを複数みたり、試合前後の人の流れを知っている方はおられるのか。	有識者懇談会は、多様な見地からの意見をいただくという観点に立ち、大学教授、文化関係者、農商等産業関係者、福祉関係者、建築関係者等の専門家で構成いたしました。議事録については県企画振興部県民文化課のホームページに公開しておりますので、ご確認ください。
115	有識者会議のメンバーや会議議事録を県HPで公開してほしい	有識者会議のメンバーはどういった方か。会議はどのように開催されているのか。議事録を見たいので、県のホームページなどで公開していただきたい。	
116	パブコメはもっと早く新聞等で周知してほしい	パブリックコメントはもっと早く新聞や県民のあゆみなどに載せてほしい。	ご意見として承ります。
117	当計画が広く県民の理解を得ているか疑問。意見募集期間も短く、県民の参画を歓迎していないのでは	この計画が広く県民の理解を得ているか疑問がある。施設整備を推進する過程でどの様なリサーチが行われたのか、県民主体のワークショップなどは開催されたのか。県民がどのような施設・設備を求めているのか、その決定プロセスに県民全員が共感できる仕組みづくりが欠かせないと思う。パブコメで県民の意見を得たいとするならば、長期間での透明性の高い場での議論が必要ではないか。募集期間も大変短く、意見の反映方針もなく、県民の行政参画を歓迎していないと感じる。	
118	パブコメだけでなくより多くの県民の意見を聞いて判断してほしい	パブコメはほんの一部の県民の意見しか集まらない。知事にはもっと多くの県民の意見を聞いたうえで判断をしていただきたい。	
119	県民会館ありきでなく、県民が求めているものが何か声を聞くべき	県民会館ありきでなく、県民が求めているものが何か、県民の声を聞いてほしい。有識者懇談会ででも今議論すべき内容でないかと退けられているが、交響楽団のための施設づくりになっていないか。有識者も今一度選定しなおすべき。	

	ご意見の概要	ご意見等の詳細	ご意見への県の考え方
	120 検討にあたっては文化以外の業界からも意見を求めていますどうか	検討にあたっては、文化以外の業界、観光業や大学(医学、工学、理学等)からも意見を求めています。特に医学・工学の大学教授などは国内外の多くの施設に学会等で参加し見識があると思う。	
	121 「文化ホールがまちをつくる」著者の森氏のアドバイスを受けては	川西町フレンドリープラザ、シベールアリーナの建設に関わった際、ベースとなる基本の考えは「文化ホールがまちをつくる(森啓編者・学陽書房)」という本と、森氏の直接のアドバイスで知識を得た。森氏のアドバイスを受ければ素晴らしいプロジェクトになるのではないか。	
20 県民会館の跡地利用について			
	122 移転後の計画が無く更地となれば景観や観光資源にとって悪影響	県民会館を西口に移転した後の計画はどうなっているのか。更地のまま放置となれば、文翔館を中心とした景観が非常に悪くなる。紅の蔵、水の茶屋、文翔館という線で結ばれた山形の大事な観光資源に対しても悪影響になる。	今後の検討に際しては、いただいた意見も参考にさせていただきます。
	123 現県民会館の跡地はどうなるのか。文翔館が浮いた存在になる	県民会館を西口に作った場合、既設の県民会館の跡地はどうなるのか。文翔館が浮いた存在になってしうのが寂しい感じがする。	
	124 移転による賑わいや商業集積への影響についての調査結果の公表や跡地利用についての説明を求めたい	現県民会館が文翔館前から移転することにより、賑わいや商業集積への影響はどの程度予測されているのか、調査結果の公表を求めたい。その上で、その結果は、中心市街地商店街関係者にとどまらず、地域住民にも説明の機会があるべきと考える。 また、移転後の跡地は何に利用するのか。同等の集客力のある施設の建設は予定されているのか、市民・県民に説明するべきと考える。	
21 その他			
	125 ネーミングライツは他県で不評との話があり、導入しない方向で検討しては	新施設にはネーミングライツをしない。現在の「やまぎんホール」は、鳥取県の「とりぎんホール」と同じだが、鳥取銀行のネーミングライツは、鳥取県民には鳥銀の担保になっているようで不評と聞いている。	今後の検討に際しては、いただいた意見も参考にさせていただきます。
	126 文化活動は人々に生き甲斐と活力を与え、様々な面に好影響をもたらす	川西町フレンドリープラザは会員による自主運営を行っているが、会員の大半が高齢者であり、退職後20～30年の時間を芸術文化に生き甲斐を持って生きる人が増えている。井上ひさし先生が種を撒いた演劇が普及し、町民劇団ができ、その指導で地元高校の演劇部が育ち、その演劇部の活動が学校、そして地域に活力を与えている。文化活動は直ちに経済には影響しないが、長いスパンで見えた場合、人々の心に生き甲斐と活力を与え、社会のあらゆる面に好影響をもたらすと考える。	